

## 下水道事業特別会計歳入歳出予算の概要

平成24年度下水道事業特別会計歳入歳出予算の総額は、16億4,800万円で前年度当初予算14億3,400万円に比べて2億1,400万円の増となっています。

これは汚水枝管整備の建設事業費の増と過去に高い利率で借り入れた町債を低い利率で借り換えを行うことによる公債費の増となっており、平成24年度は前年度比14.9%の増となるものです。

事業費については、公共下水道整備により大きな比重を占める下水道建設費等に対し、引き続き受益者負担金を賦課しつつ、自主財源の確保に努めるとともに、建設費の財源の多くを占める町債については、将来を見通した適正な償還計画に基づいた借入れに努め、下水道事業を推し進めることとしています。

また、維持管理費については、相模川流域下水道及び平塚市への維持管理負担金等の支出をします。

公債費については、下水道整備の進捗に合わせ、町債の返済に伴う元金償還金が増加しており、供用区域の拡大と接続の普及促進に努め下水道使用料収入は増えていますが、それでは賅いきれないため、歳入総額の29%を占める一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況にあります。

歳入の主な内容については、受益者負担金3,799万円（対前年度伸率62.2%増）、下水道使用料1億6,268万円（同12.4%増）、国庫支出金2億510万円（同0.6%増）、一般会計繰入金4億8,503万円（同1.6%増）、下水道事業債7億3,220万円（同30.9%増）となっています。

一方、歳出については、下水道建設費が8億6,754万円で、歳出総額の52.6%（対前年度伸率8.3%増）を占めており、公債費が6億6,258万円（同25.5%増）、維持管理事業を含

## 下水道事業特別会計

### ○ 最近年度予算額

(単位:千円)

年 度	歳入歳出予算	平成20年度を100とした指数	対前年度伸率
平成20年度	1,885,000	100.0	34.1 %
平成21年度	1,437,000	76.2	△ 23.8 %
平成22年度	1,441,000	76.4	0.3 %
平成23年度	1,434,000	76.1	△ 0.5 %
平成24年度	1,648,000	87.4	14.9 %

### ○ 歳入歳出予算前年度対比表

(歳入)

(単位:千円 %)

款 別	平成24年度		平成23年度		比較増減	対前年度伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1. 分担金及び負担金	37,987	2.3	23,422	1.6	14,565	62.2
2. 使用料及び手数料	162,679	9.9	144,684	10.1	17,995	12.4
3. 国庫支出金	205,100	12.4	203,800	14.2	1,300	0.6
4. 県支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 繰入金	485,028	29.4	477,588	33.3	7,440	1.6
6. 繰越金	20,000	1.2	20,000	1.4	0	0.0
7. 諸収入	5,005	0.3	5,005	0.3	0	0.0
8. 町債	732,000	44.4	559,500	39.0	172,500	30.8
歳入合計	1,647,800	100.0	1,434,000	100.0	213,800	14.9

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

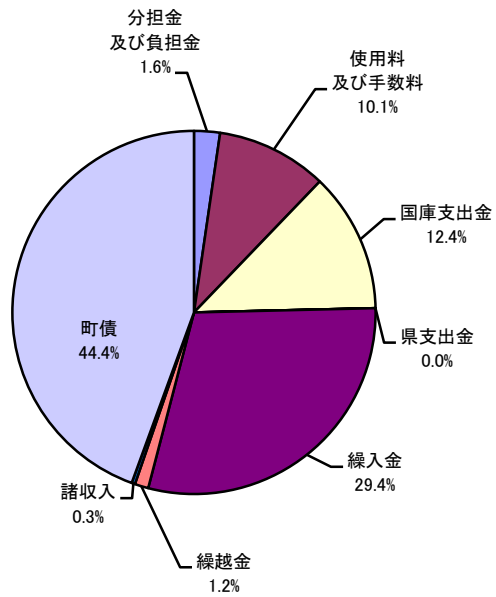
(歳出)

(単位:千円 %)

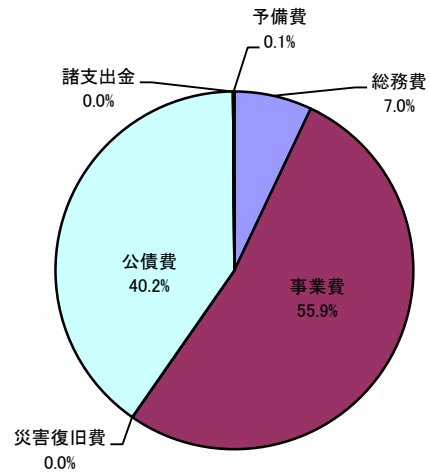
款 別	平成24年度		平成23年度		比較増減	対前年度伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1. 総務費	115,684	7.0	102,850	7.2	12,834	12.5
2. 事業費	867,538	52.6	800,952	55.9	66,586	8.3
3. 災害復旧費	200	0.0	200	0.0	0	0.0
4. 公債費	662,577	40.2	527,997	36.8	134,580	25.5
5. 諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6. 予備費	2,000	0.1	2,000	0.1	0	0.0
歳出合計	1,648,000	100.0	1,434,000	100.0	214,000	14.9

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

## 歳入の構成比



## 歳出の構成比



※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。